

平成 29 年度第 2 回三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会議事録

1 開催日時 平成 30 年 3 月 6 日（火曜日）15 時 00 分から 17 時 00 分

2 開催場所 三重県栄町庁舎 4 1 会議室

3 出席者数 出席 1 4 名 欠席 1 名

4 内容

〔事項〕

(1) ヘルプマークの普及について

(2) 三重おもいやり駐車場利用証制度について

(3) 第 4 次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画（2019-2022）の策定スケジュールについて

(4) 平成 30 年度当初予算について

(5) その他

5 概要（開会行事、事務局からの説明は省略）

〔協議事項〕

(1) ヘルプマークの普及について

事務局よりヘルプカードの導入とヘルプマークの普及の取組について報告がされた。委員よりバス協会が優先座席のある乗合バス車両にヘルプマークのステッカーを貼る取組が報告された。

【委員意見】

ヘルプマークアンバサダーの数を増やす考えはあるか。ある場合は、発信力のある若い方の検討をお願いしたい。

→（事務局回答）

ヘルプマークの普及啓発、特に若い方の協力は大切と考えていますので、新たに設置する場合には検討いたします。

【委員意見】

ヘルプマークアンバサダーの報酬などはどのようになっているのか。

→（事務局回答）

役職として定期的に定額の報酬を渡すことは考えていません。学校出前授業や啓発などの各催しにご協力いただく際の報償費や交通費を支給する予定です。

【委員意見】

ヘルプカードの配布方法は、配付対象に認知症を含むのか。

→（事務局回答）

外見からはわからないが援助や配慮を必要としている方が対象となることを

説明し、その認知症の方が必要ということであればお渡しします。

【委員意見】

ヘルプカードが配慮を求めるさまざまなマークの代わりになるのではないか。

→（事務局回答）

ヘルプカードは外見からわかりにくい障がいを持った方などが交通機関の座席の譲り合いをしやすくすること等を想定している。今ある様々なマーク（マタニティマークなど）にもそれぞれ意味があるので、それらのマークの使用をお願いしたい。

【委員意見】

ストラップ型ヘルプマークの導入時期は何時頃か。

→（事務局回答）

30年度予算で作成します。早ければ、6月から導入したいと考えています。

【委員意見】

ストラップ型ヘルプマークの作成予算の一部がクラウドファンディング等寄付を原資に行うということだが、目標額が集まらなかった場合は返金手続きをするのか。

→（事務局回答）

クラウドファンディングの方法はいくつかありますが、今回は、目標額は設定するが、達しない場合であっても集まった金額の範囲で作成する方法で実施します。

【委員意見】

ヘルプマークの啓発活動はどのように実施されるのか、特に教育関係への周知をお願いしたい。

→（事務局回答）

学校出前授業等で行います。また、出前授業で使用する冊子を来年度改訂する際に、ヘルプマークの詳細を盛り込みます。

【委員意見】

三重インフォにて、多言語で紹介されているが、リンク情報が多言語ではないので、ヘルプマークの使用状態がわかる写真をリンク情報に掲載するように変更していただきたい。

→（事務局回答）

対応します。

(2) 三重おもいやり駐車場利用証制度について

事務局より制度の改正と現状について報告がされた。

【委員意見】

一部の方が運転中もルームミラーに利用証を掲げているため運転に支障を

きたす恐れがある。明示は駐車時だけでよいと周知をお願いしたい。

(3) 第4次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2019-2022)の策定スケジュールについて

事務局より推進計画の策定に関する来年度のスケジュールについて報告がされた。

(4) 平成30年度当初予算について

事務局より平成30年度当初予算について報告がされた。

委員より鉄道事業者として駅舎のバリアフリー化について取組むことが報告がされた。